



# 結

2017. 7. 15 No.76

yui



## こうすれば戦争はさけられる —北朝鮮問題を中心にして—



5月30日(火)、つくばイノベーションプラザにて、川田忠明氏(日本平和委員会常任理事)による表記の演題の講演の概要を報告します。街頭の「9条署名」行動で、北朝鮮の核開発やミサイル発射に不安を覚え、米国に守ってもらわなければならないという意見に対応できるようになりたいと企画された学習会です。約50名の参加で、3分の1以上の方からアンケートを寄せていただき、この問題にどう向き合えばよいのかよく分かったという声が多く寄せられました。

### 北朝鮮の「脅威」の実情

経済では一人あたりのGDPが76万円、軍事費は日本の8分の1、国家予算の23%を軍事費が占める、空・海軍の装備は古く、陸軍は自衛のために少し良いこと、軍事費の7割近くが核開発に充てられていることなど、北朝鮮のリアルな実情を説明されました。

### 軍事解決はあり得ない

1994年に北朝鮮が国際原子力機構を脱退し、核開発に踏み出した時、クリントン大統領は北への先制攻撃を検討しましたが、米軍や韓国の死者などとてもない大被害が生じることが分かり、核開発を止めさせるための交渉に切り換えました。当時の金泳三韓国大統領は米国の軍事攻撃に断固反対しました。ブッシュ・ジュニア米政権時の2003年危機では、盧武鉉大統領(当時)は「軍事オプションは絶対にのめない」と述べ、文在寅現大統領は外交・対話路線をとっています。責任ある為政者なら軍事攻撃は拒否しています。

今日(2017年)の米国政界の認識として、ペリー元国防長官やカーター元国防長官が、全面戦争や核戦争の可能性や戦争の破壊的な予測から、軍事行動否定をしています。一方、安倍政権はリスクが分かっているのか?と問いかけ、北朝鮮の核ミサイルが永田町に着弾すると死者約42万人、2次被害者は81万人などの試算を紹

介し、①原発攻撃の危険、②攻撃されなくても海上輸送の貿易ストップで、日本の経済と暮らしは大混乱、③金体制崩壊なら核兵器未管理の危険や難民でさらに深刻になることを指摘されました。

安倍首相は、トランプ大統領の「全ての選択肢がテーブルの上にある」との発言にこだわり、「トランプ大統領と親密な関係をしっかりつくり(中略)それしか私は選択肢はない」と述べました。そのリアルでない姿勢は、憲法の平和原則の無視と敵視を、国民の安全より優先している結果であると指摘されました。

### 抑止力は通用しない

2016年1月に北朝鮮が4回目の核実験を行ったことに対して、「斬首作戦」とミサイル基地への先制攻撃のための米韓合同軍事演習をおこないました。それ以降の、米韓合同の軍事的示威行動と、それに対抗する北朝鮮のミサイル発射という、双方の軍事的示威の逐次的なやり取りを具体的に示され、米国の軍事的示威行動が北朝鮮の核ミサイル開発を抑止できない姿をリアルに示されました。

### トランプ政権の対北朝鮮政策

トランプ政権は、現時点では外交的解決を優先しています。アメリカは北朝鮮の第一の目的について、「彼らの第一の目的は…自国の体制と権力の維持だ」(ペリー元

国防長官、2017年4月)、「(北の)戦略的目標は、金王朝の存続を保障し、国民の思想を永続的に管理することである」・「核・ミサイル計画はこの政治戦略と深く結びついている」(米国防総省報告、2013-2014版)ととらえています。

朝鮮戦争は1953年に北朝鮮軍、中国軍、国連軍(米軍)で休戦協定

## 12周年記念のつどい お知らせ

日時 10月9日(月・祝日)午後  
場所 市民ホールとよさと

講演 川田忠明氏(日本平和委員会常任理事、日本原水協全国担当常任理事)  
北朝鮮、中国問題や米トランプ政権の東アジア政策などについて  
文化行事 「ゴスペルで平和をうたおう!」  
出演:ヴォーカルグループ「VOJA-tension」  
~ゴスペルワークショップ&ライブ参加者募集~

を結び、現在も停戦中です。北朝鮮にとって、米国との平和協定締結が北の体制維持にとって必要不可欠です。米朝関係が北朝鮮の核ミサイル開発を止めさせるカギを握っています。

2005年の六か国協議（北朝鮮、韓国、日本、中国、米国、ロシア）共同声明は、①朝鮮半島の非核化を目標に、②米国は朝鮮半島で核兵器を配備せず、北に核攻撃や侵略の意図なし、③韓国は核兵器を配備しない、④北朝鮮と米国の平和的共存、国交正常化へ、⑤北朝鮮と日本は国交正常化へ、⑥6者は経済協力を推進、北朝鮮にエネルギー支援、と合意しましたが、2006年に北朝鮮が核実験を行ったため、2007年3月以来、六か国協議は未開催です。

では、トランプ政権はどのような認識を持っているか？「彼（金正恩）と私が会うのが適切なら、私は、当然そうする。光栄なことだ。」（2017年5月、トランプ大統領）、「大統領のアプローチは、経済制裁を強化し、…共同した外交的措置を追及して、北朝鮮に圧力をかけ、核・弾道ミサイル、拡散計画を撤廃させることだ。…米国は朝鮮半島の安定と平和的な非核化を追求する。我々は、この目的に向かっての交渉について、引き続きオープンである」（ティラーソン国務長官、マティス国防長官、コーン国家情報長官共同声明 4月26日）。

北朝鮮も対話を探っています。「韓国にある米の核兵器撤去、核兵器の使用や威嚇を行わないなどが実現すれば我々もやはりそれに対応した措置をとることになるであろうし、朝鮮半島非核化の実現において画期的な突破口が開かれるであろう」（北朝鮮政府スポークスマン、2016年7月）。

### 中国・ロシアなどの提案

北朝鮮と米国双方の軍事的示威行動を止めさせ、交渉に戻らせるための中国やロシアの提案を示されました

が、割愛します。

核兵器禁止条約は、核兵器が初めて違法化される。「核兵器のない世界」への流れで迫る。北朝鮮は廃絶の方向に賛成していきだが、同条約の国連会議に欠席した。この会議に出席された川田氏は、禁止条約で手が縛られると痛感したと述べられた。

### 日本政府はどう対応するのか

安倍首相は「(トランプ大統領とは)北朝鮮の脅威を抑止するため、日米で防衛体制と能力向上を図るための具体的行動をとることで合意いたしました」、どのような能力を?の質問に答えて「今回も米国の空母打撃群と海上自衛隊、航空自衛隊との共同訓練を実施することができました」「2隻(のイージス艦)にBMD(弾道ミサイル防衛)能力を付与する改修を進めるとともに2隻の新規建造を進めており、8隻体制の実現を急いでおります」(5月27日)と述べています。この安倍首相の姿勢は、世界の目から浮いているように見えます。

### 日本政府のとるべき対応

1) 武力衝突の可能性を排除する(緊張を高める言動を行わない、トランプ政権に先制攻撃を行わず、交渉に踏み出すよう働きかける)。

2) 非軍事的手段で北朝鮮の非核化を追求する(非核9条の国の外交攻勢)。

安倍首相と対照的に、フィリピン・ドゥテルテ大統領は(戦争で)最初に犠牲になるのはアジアだ」「トランプ氏にやめて、と言わなければいけない(4月29日、電話会談を前に)。

今、憲法9条が、それに対する態度とは関係なく、現実的な立場になっていると講演を結びました。

(文責 野崎)



## 組織的犯罪処罰法改正案(「共謀罪」法案)の強行採決に抗議し廃止を求めます。

自民、公明両党、維新の会等は、6月15日早朝参議院本会議で「共謀罪法案」の強行採決を行いました。法案審議中の法務委員会での採決を省略し、「中間報告」を行った後に採決するという異例の手続きを取った上の採決でした。「民主主義ないがしろ」「異常というしかない」と新聞各紙は報じました。自民党内からさえ「全くの想定外」の声が漏れる事態でした。

急いだ理由は主に2つ。1つは「共謀罪」法案に対する逆風に加え、「加計学園」問題への批判が深刻化し早く審議を打ち切って7月2日の東京都議会選挙への影響を少なくしたいという理由、もう1つは法務委員会委員長を務める公明党議員に強行採決の「汚名」を着せたくないという気づかい、と言われていいます。両方の理由とも、あきれた「政治の私物化」です。しかし強行採決後、安倍内閣の支持率は急速に下降、支持より不支持が上回るという調査結果も現れました。そして、注目の7月2日の東京都議会議員選挙、東京都民は自民党に明白な「NO」を突き付け「自民党歴史的な大敗」という結果になりました。

世論は動いたのです。国政の私物化と憲法を壊す政治に終止符を打つため、早期の国会解散、総選挙を求め、野党と市民の共同の力で勝利して、秘密保護法、安保関連法、「共謀罪」法などの悪法を廃止し、立憲主義、民主主義を国民の手に取り戻しましょう。(共同代表 穂積妙子)

# 「憲法9条の会つくば」の活動から

◆賛同人 2017年7月8日現在  
総数 951名 (市内 685名)  
◆9条署名 7月10日現在 16,887筆



## つくば市母親大会 平和分科会

つくば母親大会・平和分科会「沖縄でいま、何が起きているかー憲法の視点から考える」が6月18日豊里交流センターにて「憲法9条の会つくば」と「つくば市平和委員会」の担当で開催された。参加者45名(男性が1/3)平和分科会参加目的で母親大会に来場された方も多くみられた。最初に、辺野古・高江の基地建設反対運動に参加した「沖縄に学ぶ会つくば」の方々から、「基地反対運動の現状と南西諸島への自衛隊とミサイル配備計画、沖縄の悲惨な戦中戦後の歴史、沖縄の自然環境破壊問題」についての報告があった。次に、助言者の福富美穂子弁護士から今沖縄で行われている事がどのように日本国憲法に違反しているか具体的に話していただいた。主な内容は「嘉手納基地爆音被害等でも争われてきたが、日本国民全体の防衛・外交政策の利益に対し基地被害を沖縄の住民に強いてきた実態は憲法11条(基本的人権の尊重)、13条(幸福追求権)、14条(法の下での平等)に違反している。地方自治については憲法92条で地方自治の本旨が定められており住民自治(93条)、団体自治(94条)も明記されている。95条(一の地方公共団体にのみ適用される特別法は過半数の同意必要)により辺野古基地建設等は住民投票が必要ではないか、と木村草太教授も動きは始めている。また、高江米軍ヘリパット建設予定地での千葉県警、警視庁、神奈川県警などの機動隊が法的根拠の無い住民弾圧をしたことについて派遣元の各地で住民監査請求運動、東京では住民訴訟提起が行われている。等」グループ討議で参加者全員が意見を出し合った後、福富先生の助言を受け「私たちに何ができるか」を全体で討議した。沖縄の犠牲の上に我々の生活があることを自覚し、沖縄県民と連帯し私たちの問題としてとらえる。定期的に沖縄を知り正しい情報を伝える努力をし、また自分たちの足元の地方自治を知ることにも努める。非暴力で基地反対運動に参加したり機動隊派遣阻止のため派遣元で住民監査請求をする。沖縄以外の県での国民の声を大きくすることで沖縄問題の正しい司法判断を引き出す。などの意見があり最後に「沖縄の人々の不屈の闘いに学び私たちは憲法9条を守るために諦めず行動しましょう、国は沖縄の貴重な自然を破壊するな!」と申し合わせた。福富先生が「共謀罪が通ってしまったが変わらず声を上げて行きましょう。大勢で声をあげれば留置場にも入りきらないし、もし捕まっても仲間が助けてくれますよ!」と力強く明るく結んでくださった。短時間であったが参加者全員が共に沖縄に心を寄

せ、憲法を学び、これからは繋げる希望を持ち帰っていただけたのではと思っている。(森)

## 憲法カフェ 桜ニュータウン開催

憲法カフェ桜ニュータウンに参加させて頂き、考えさせられる事が多々ありました。まだ若き日に日本国憲法の前文を読んだだけで感動を覚えた事を思い出します。

現憲法をGHQからの押し付け憲法である故に改正すべきだと、よく言われます。例え押し付け憲法であったとしても、これほど国を思い国民を思う、尊厳ある憲法が他に有るだろうか。この尊厳ある憲法を改正する必要が何処にあるのでしょうか。

私は今75歳ですが戦争の記憶は全くありません、しかし父母や兄から戦争の怖さ恐ろしさを直に聞きます。子や可愛い孫の為に戦争は絶対あってはならないと本当に思います。ほんの一昔前までの政治家は戦争体験者が殆どでしたから、紆余曲折はあったとしてもどうか現憲法が守られてきました。しかし気が付くと、いま国を動かしている政治家の殆どは戦争体験もない自分より若い政治家です。もちろん当時の政治家にも危うい人もいたし、逆に現在でも立派な人は多いと思います。しかし戦争体験のない若い政治家が最近はとみに勇ましい発言をしたり無責任な行動をしたりで、危なっかしい人が多い様に思えてならない。

最後になりましたが私の解釈では、現憲法は国民の為の憲法であらねばならないと言っており、自民党の憲法改正草案の言うところは、国民は国家の為にあらねばならないと言っている様に思えてならない。真に国民の為になるのはどちらであろうか?(大石邦夫)

## 定例・ 9の日署名

▼6月9日は7人で「共謀罪反対統一署名」と「憲法9条を変えさせない署名」の両方に署名をお願いし、それぞれ22筆と20筆の署名を頂きました。定例署名活動の日である6月18日は、市民ホール豊里で「つくば市母親大会」があり、ここで署名を実施しました。▼@つくばとの共同行動:3日の「アベ政治を許さない」のスタンディングと、19日の「共謀罪反対」行動に参加しました。6月19日は、共謀罪が15日に参議院本会議で法務委員会の審議をしないまま強行採決された直後でもあって、TXつくば駅での共謀罪反対・抗議チラシは短時間に150枚を配布しました。

※6月13日、  
「九条の会つくば」の旗を掲げ、  
日比谷野音で開かれた集会・  
デモに参加



映画「笑う101歳×2 笹本恒子 むのたけし」

監督・脚本 = 河邑厚徳 / 2016年 / 91分

日本初の女性報道写真家と、伝説のジャーナリスト。女と男。カメラとペン。二人の生き方を見つめた「希望」のドキュメンタリー映画である。河邑監督は「気骨のある人、信念を持っている人」に惹かれてこの映画を制作した。

2014年4月5日、横浜で二人の「100歳対談」が催された。そこでは、若き日にあの大戦を体験したそれぞれの思いが語られる。笹本は、写真家である夫と結婚して4ヶ月後に太平洋戦争が始まった。「結婚はしましたけども、いつ招集令状が来るか。連れて行かれれば、この人の命はないと諦めなくちゃいけない。あのカチャカチャと自転車の止まる音がすると、二人で話していたのが黙ってしまう…」むのは、朝日新聞記者時代の空気を語る。内務省や憲兵隊が来て直接に検閲することはなかった。しかし、「新聞社自体が自己規制する。もしも問題の記事を載せて廃刊命令なんか受ければ大変だと言うんで、新聞社自体がセルフコントロールするわけ。自分で自身に、もう鎖を当てはめて…」。「見ざる、言わざる、聞かざる。そういう状態に新聞社でもなる。」「権力側から見れば、戦争体制は命令と服従だけですからな！」

むのは、1945年8月15日、新聞社を辞めた。それは、戦争責任を取るというより、若者らしい正義感だったという。秋田の小作農の貧しい家に生まれ育ったむのは、少年の頃から、朝鮮人・支那人をバカにする風潮をおかしいと感じ、かれらと一緒に歌い歩いた。長いものに巻かれることをしない生き方は、終生一貫していた。朝日に移る前、報知新聞時代の1940年2月2日、帝国議会で反軍演説をした民政党議員・斎藤隆夫に血が沸く思いをしたむのは、しかし朝日の記者としては戦争報道に従事せざるを得なかった。終戦の日の退社後、故郷・秋田に戻って、週刊新聞「たいまつ」を1948年2月2日から30年間発行し続ける。「嵐は、たいまつを消すことができる。だが、たいまつが炎々と燃えるのも嵐の夜。」(1978年10月)

笹本は、若い頃、画家を目指していた。当時の気鋭の女流画家・三岸節子のアトリエを訪ね、「あなたのセンスでお描きなさい。…人のマネをしなくて描きなさい。」という言葉に触れる。その後、1冊の写真集に出会ったことがきっかけで、日本で最初の女性報道写真家となる。しかし、戦時下に、写真家としての自由はなかった。「日独伊三国同盟婦人祝賀会」を撮影したりする。戦後、それまで差別されてきた女性たちは、それぞれの場でたくましく生きていた。笹本は、彼女たちの笑顔に励まされた。その写真には、佐多稲子・澤田美喜・北原怜子らの生き様も残されている。さらに、「三井三池争議」や「樺美智子の遺影を持つ若者」などの作品も映画の中で紹介される。

河邑監督は、こう語る。「二人を貫いているのは、『自由でありたい』という思いです。組織にも権力にも縛られないで自分らしくありたい、と。戦前・戦中でもこういう生き方ができたんだと励まされます。」「残された命をどう終えるか。日本人全体のテーマだと思うんです。でも、二人にとっては下り坂じゃない。最後まで自分の使命を果たすという生き方があるんだ、と。」

むのたけしが2016年8月に101歳で亡くなる4か月前、ジャーナリスト志望の学生たちに招かれて車椅子で語った言葉が印象深い。

・(戦争は)人類が食べ物を欲しがってまず家族のために隣の家へ盗みに行ったり、そういうところから始まったわけではない。社会現象なんだ。権力の発生が国家を生み、国家が戦争をやらだした。(しかし、)戦争を国家のやむを得ない権利として認める、そういうことを人類はどこの会議でもどこの文書でも、一度も協定していません。

・(憲法9条について、)国家は戦争をやらない、軍隊を持たない、兵器は作らない、他国を攻めない。この道をとにかく過去への反省を含めて、高々とたいまつのように民族の自分の身体を燃やして進んでいく、これしか日本の生きる道はないな、と思ったんです。

・大事なことは、あなた方はとにかく意見の違うものがあったら、対話することです。対立を、対話して一対の関係に。話し合えばわかる、敬い合える、一緒に働き合える。これが人類を変え、それが戦争をなくす。(後藤)

行動予定

- 7月16日(日) 定例署名 12:00~13:00 アルス前
- 8月3日(木) アベ政権を許さないスタンディング 13:00~13:30 つくば駅 A3 出口
- 8月9日(水) 9の日署名 12:00~13:00 (時間変更の可能性あり)
- 8月19日(土) 事務局会・12周年記念のつどい実行委員会 10:00~12:30 市民活動センター (予定)
- 8月20日(日) 定例署名 12:00~13:00 アルス前
- 9月3日(日) アベ政権を許さないスタンディング 13:00~13:30 つくば駅 A3 出口
- 9月9日(土) 桜ニュータウン憲法カフェ 10:00~12:00 結77号発行予定
- 9月16日(土) 定例世話人会・12周年記念のつどい実行委員会 13:30~16:30



- ◆8月6日(日) 8:00~ 9日(水) 11:00~ 平和の鐘ひと撞き運動に協力  
場所: 自由が丘めぐみ教会・つくば市栗原北斗寺
- ◆8月11日(金・休日) 14:00~ (開場 13:00)  
映画「母」上映  
場所: 土浦市民会館大ホール (山田火砂子監督・舞台挨拶あり) \*チケット9条の会つくば090-6492-5378 穂積
- ◆8月19日(土)~20日(日) 日本母親大会: 岩手県盛岡市
- ◆8月30日(水) ①13:30 ②16:15 ③19:00  
映画「スノーデン」上映 場所: つくばカピオホール